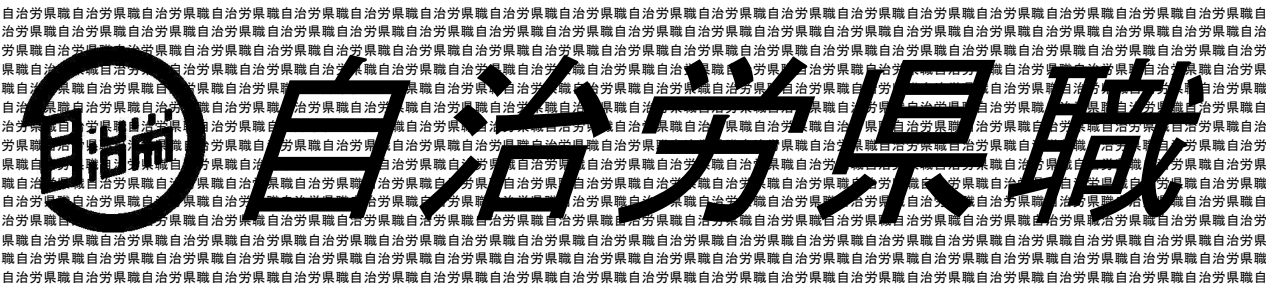


速報版

発行：自治労滋賀県職員連合労働組合
自治労滋賀県職員労働組合
県庁東館5階
県庁内線：4790.4791
直通077-528-4790
FAX：077-521-3784
E-Mail/shigajichiro@yahoo.co.jp



知事部局の職員定数77人増加へ議会提案
5年連続の職員定数増、コロナ対策等で一定の改善へ

公共事業増加の対応+8人、子家相の体制強化+11人
全国植樹祭準備+15人、国スポ・障スポ大会準備+6人
病院事業庁 +29人の増員

県当局は2月8日、本年2月定例議会の提出案件を発表し、県職員定数の改正条例案等の提案内容を明らかにしました。知事部局の職員定数については、一昨年度10人、昨年度17人、本年度41人の増員が図られましたが、来年度においても77人の増員の方針を示しました。このことは自治労県職として、確定交渉時から人員課題を掲げ、事業量の増大、真の働き方改革の実現、技術継承の課題などを訴えたことに一定程度応えたものと評価して受けとめます。

県当局は主な増員要素として、公共事業増加の対応、子家相の体制強化、全国植樹祭開催準備、国スポ・障スポ大会開催準備などをあげています。また知事部局以外にも、病院事業庁の定数増も図られます。

5年連続の職員定数増であり、さらに今回の77名増員は大きな前進ではありますが、ピーク時から1000名を超える減員からの回復には、まだまだ道遠しの状況であります。減員が続いた「失われた10年の間」に職員構成はいびつとなり、中堅層の手薄さが技術継承も含めて今日の職場の体力を奪っています。

＜来年度の職員定数の増減＞

Table with 3 columns: Department, Current Staff, Change. Includes rows for 知事部局 (3,130 to 3,200), 教育委員会事務局 (207 to 184), 教育機関 (3,369 to 3,326), 病院事業庁 (1,134 to 1,163), and Total (8,569 to 8,593).

※記載のない部局は増減なし

農技センターの技労職を新規採用へ

治労県職は2月4日、障害福祉課長交渉を実施しました。今回の交渉は、初めて近江学園で実施し、園からの参加者は日頃の悩みや不安も含めて課長に実態を訴えました。主には①近江学園の改築の動向と今後の人員体制の確保②近江学園の調理員確保③社会福祉職のキャリア形成の方向④働き方改革の課題などで議論しました。

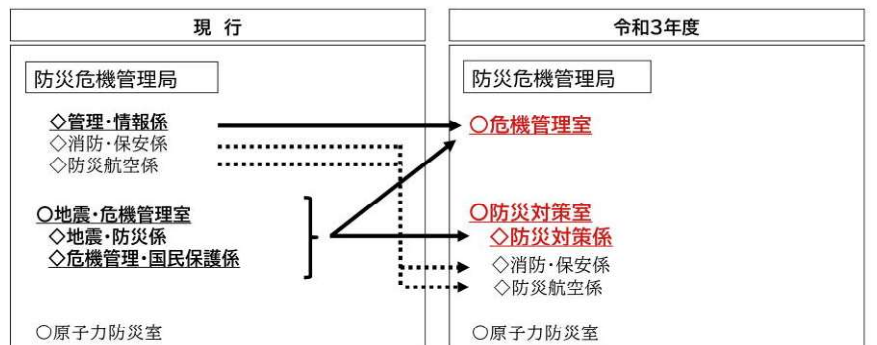
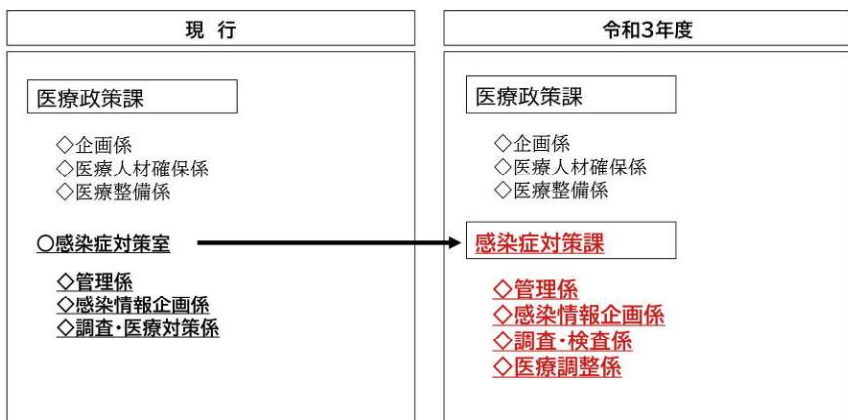
来年度の組織改編案も示す

「感染症対策課」を設置（健康医療福祉部）

新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染症拡大に係る健康危機事案に、より一層迅速かつ的確に対応していくため、専任職員を増員の上、医療政策課感染症対策室を課に格上げし、「感染症対策課」を設置します。

防災危機管理体制の強化（知事公室）

自然災害に加え、新型コロナウイルス感染症や高病原性鳥インフルエンザなど頻発する危機管理事案に全庁一体となって対応していくため、司令塔として情報の一元管理と対策の総合的な企画・調整機能を強化することをねらいに、防災危機管理局に「危機管理室」を設置し、同局を現行の2室体制から3室体制に再編します。



### 近代美術館を「美術館」に改称、「教育・コミュニケーション室」を設置（文化スポーツ部）

本年6月の再開館にあたり、様々な表現や活動と柔軟に向き合い、多様性をより深く感じられる場となる美術館を目指して、特定の時代や傾向を想起させる「近代」をはずし、「美術館」に改称。併せて、美術を通じた人々の学びや次世代の育成・交流、地域や関係分野で活動する人や団体との双方向の連携強化のため、同館に「教育・コミュニケーション室」を設置。

現 行	令和3年度
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">近代美術館</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○総務課</li> <li>○学芸課</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">美術館</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○総務課</li> <li>○学芸課</li> <li>○教育・コミュニケーション室</li> <li>○美の魅力発信推進室</li> </ul>

### 「美の魅力発信推進室」を設置（文化スポーツ部）

「美の魅力にあふれる滋賀をみんなの美術館に」というコンセプトの具現化に向けて、滋賀の多様な美の魅力を広く発信するため、「文化芸術振興課 美の魅力発信推進室」を設け、勤務場所を県立美術館内とする。

現 行	令和3年度
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">文化芸術振興課</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇総務係</li> <li>◇振興係</li> </ul> <p>○美の滋賀企画室</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">文化芸術振興課</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇総務係</li> <li>◇振興係</li> </ul> <p>(廃止)</p> <p>○美の魅力発信推進室 (勤務場所:美術館内)</p>

### 「地域デジタル化連携推進室」を設置（総合企画部）

国において、令和3年中に「デジタル庁」創設が計画される中、本県においても国の動きに対応しつつ、市町や企業と連携し、県民向けサービス・情報提供のデジタル化をはじめ、地域のデジタル化を一層推進していくため、情報政策課に「地域デジタル化連携推進室」を設置し、情報政策部門の強化を図ります。

現 行	令和3年度
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">情報政策課</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇地域情報化係</li> <li>◇情報基盤係</li> </ul> <p>○ICT企画室</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">情報政策課</div> <p>○地域デジタル化連携推進室</p> <p>(廃止)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇情報基盤係</li> </ul> <p>(廃止)</p> <p>◇県庁デジタル化推進係</p>

### 「CO2ネットゼロ推進課」を設置（総合企画部）

パリ協定のもと、「2050年までに温室効果ガスを実質ゼロ」にすることが世界の潮流となる中、県内の「CO2ネットゼロ」の実現に向け、エネルギー政策と温暖化対策に一体的に取り組み、より効果的な施策の推進を図るため、総合企画部エネルギー政策課と琵琶湖環境部温暖化対策課を統合し、総合企画部に「CO2ネットゼロ推進課」を設置。

現 行	令和3年度
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">総合企画部</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>企画調整課</li> <li>国際課</li> <li>県民活動生活課</li> <li>エネルギー政策課</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">琵琶湖環境部</div> <p>(他に環境政策課等7課)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">総合企画部</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>企画調整課</li> <li>国際課</li> <li>県民活動生活課</li> <li>CO2ネットゼロ推進課</li> <li>◇計画調整係</li> <li>◇事業推進係</li> <li>人権施策推進課</li> <li>情報政策課</li> <li>統計課</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">琵琶湖環境部</div> <p>(環境政策課等7課)</p>

### ◆知事部局本庁の組織数

2020年度 10部局等 4局 62課 46室

2021年度 10部局等 4局 63課 45室

※ 部局等：知事公室、部、会計管理局

【増減内訳】(組織名の改称は除く)

- [課] + 3 CO2ネットゼロ推進課、競技力向上対策課、感染症対策課
- △ 2 エネルギー政策課、温暖化対策課
- [室] + 4 危機管理室、防災対策室、美の魅力発信推進室、地域デジタル化連携推進室
- △ 5 地震・危機管理室、ICT企画室、美の滋賀企画室、競技力向上対策室、感染症対策室

### ◆職員定数について

危機的な状況が続く新型コロナウイルス感染症について、県民の生命・健康と財産を守り、県民生活と社会機能を維持していくため、感染拡大防止対策をさらに強化する必要。さらには、国土強靱化のための公共工事への対応、児童虐待防止対策、DXの推進など、様々な分野で行政需要が増大。令和3年度は、引き続き、不断の取組として、事務事業の見直しや業務の効率化、部局間および所属間のリバランス等の徹底による減員を図りつつも、各種行政課題に的確に対応し、重点施策を着実に推進できるよう、全体で77人の増員を行う改正条例案を滋賀県議会令和3年2月定例会議に提案。

(知事部局) 2020年度：3,200人 → 2021年度：3,277人 (+77人)

### 【主な増員要素】

- 新型コロナウイルス感染症対策体制強化
  - ・兼務職員の専任化 + 21人
  - ・保健所の体制強化(保健師の増員) + 7人
- 国土強靱化等公共工事増加への対応 + 24人
- 国の「児童虐待防止対策体制総合強化プラン」等に基づく子ども家庭相談センターの体制強化 + 13人
- DXの推進 + 3人

### 【文化スポーツ部】

◆文化財活用推進室を「文化財活用推進・新文化館開設準備室」に改称

◆「競技力向上対策課」を設置

◆再発防止策を踏まえた文化財保護課の体制強化

## 新春号クイズ当選者発表

■クイズの正解  
【クワワード：キュウアールコード、イラストクイズ：2匹】

◇自治労県職賞【JCBギフトカード5千円分】 4名

- 植田 壮彦 (東近江・田園振興課)
- 中澤 孝文 (生活衛生課)
- 青木 まゆみ (湖北健康福祉事務所)
- 西谷 拓也 (総合病院・放射線部)

◇かに好きで賞【スワイガニ2杯セット】 2名

- 三宅 もえ (湖東環境事務所)
- 竹田 好美 (総合病院・看護部)

◇ユニマット賞【コーヒードリップパック】 4名

- 斎藤 篤志 (大津・南部・田園振興課)
- 中原 康晶 (高等技術専門校・米原校舎)
- 梅居 奈央 (県立リハビリテーションセンター)
- 大堀 健史 (総合病院・薬剤部)

◇シネ・コン賞【提携映画館ペア招待券】 10名

- 森 裕太 (自然環境保全課)
- 西村 仁 (畜産課)
- 安野 諒 (耕地課)
- 打田 拓也 (国際課)
- 西田 幸洋 (湖東・田園振興課)
- 佐野 聡哉 (琵琶湖保全再生課)
- 上田 博臣 (小児保健医療センター・看護部)
- 後藤 真由美 (総合病院・看護部)
- 西村 みゆき (総合病院・病理部)
- 辻 千晶 (総合病院・セラム)

※「湯けむり賞」および「当たったで賞」の当選者については、発送をもって発表とさせていただきます。





